

履 歴 書

区 分	甲 乙
-----	-----

ふりがな 氏 名 生年月日	いとたろう 伊 都 太 郎 平成〇〇(△△△△)年 月 日生	男 女
本 籍 (都道府県名)		
現 住 所	〒 -	
学 歴	平成 元年 3月27日 ○〇大学○学部○学科卒業 平成 元年 4月 1日 ○〇大学大学院○〇学府○〇専攻修士課程入学 平成 3年 3月27日 同上修了 平成 3年 4月 1日 ○〇大学大学院○〇学府○〇専攻 博士後期課程進学 平成 6年 3月31日 同上単位修得退学	
職 歴	平成 7年 4月 1日 ○〇株式会社入社 ○〇研究所配属 平成 8年 4月 1日 同社○〇研究所配置換 平成 9年 3月31日 同上辞職 平成 9年 4月 1日 ○〇大学助手(○研究科)採用 平成11年 4月 1日 ○〇大学講師(○研究科)昇任 現在に至る	
研究歴	平成 元年 4月 1日 } ○〇大学大学院○〇学府において 平成 6年 3月31日 } ○〇について研究 平成 6年 4月 1日 } ○〇大学○学部において研究生として 平成 7年 3月31日 } ○〇について研究 平成 7年 4月 1日 } ○〇株式会社○〇研究所及び○〇研究所において 平成 9年 3月31日 } ○〇について研究 平成 9年 4月 1日 } ○〇大学○学部において 平成10年 3月31日 } ○〇について研究 平成10年 4月 1日 } ○〇大学○学部において内地研究員として 平成11年 3月31日 } ○〇について研究 平成11年 4月 1日 } ○〇大学○学部において 現在まで } ○〇について研究	
上記のとおり相違ありません。 令和 年 月 日		
氏 名 伊 都 太 郎		

(作成要領)

1. 氏名

外国人の場合の氏名は、下記のように記載すること。

ふりがな	モハメッド アブドゥル マゼード
氏名	Mohammed Abdul Mazeed
生年月日	昭和〇〇 (〇〇〇〇) 年〇〇月〇〇日生

ふりがな	ホアン ツ ウェイ
氏名	黄 志 偉 Hyang Chih Wei
生年月日	平成〇〇 (〇〇〇〇) 年〇〇月〇〇日生

2. 本籍

都道府県 (外国人は国籍 (国名)) のみを記載すること。

国名は、外国人登録証にある国名を原則とする。

中華人民共和国→「中国」、大韓民国→「韓国」、台湾→「中国 (台湾)」等

3. 学歴

大学卒業以後又は最終学歴を記載すること。

在学中の場合は、「現在に至る」とし、中途退学は「退学」、単位修得の上退学は「単位修得退学」と記載すること。

本学大学院研究科の再編時期は、平成11年度入学者 (～H12.3.31) まで「研究科」、それ以降は「学府」と記載する。

九州大学では、昭和49年度進学までは「博士課程」と記載すること。

研究生歴は学歴に含めない。(研究歴に含める。)

4. 職歴

年月日の順を追って、採用・退職等を記載する。

在職中の場合は、最後に「現在に至る」と記載する。

常勤の職について記載する。(非常勤の職であっても、特に研究に関するものは記載できる。)

職歴がない場合は「なし」と記載する。

日本学術振興会特別研究員の採用期間は、職歴に記載し、研究歴では大学院在籍の形で記載する。

会社名が変更になっている場合は、以下のように記載すること。

「〇〇株式会社 (旧名△△株式会社 平成〇年〇月〇日社名変更) 入社」と記載すること。

また、研究歴の研究場所が〇〇株式会社内の場合で、会社名が変更になっている場合は、再度、以下のように記載すること。

「〇〇株式会社 (旧名△△株式会社 平成〇年〇月〇日社名変更) において……」と記載すること。

4. 研究歴

研究した事項とその期間を明記すること。

なお、学歴及び職歴に記載した期間中に研究歴に該当するものがある場合には、それについても記載すること。

修士課程の期間から研究歴に含めることができるが、学部は含めない。

研究生の期間を含めることができる。その際、「研究生として」を必ず記載する。

同一研究歴が複数の組織にまたがる場合は、組織名を「及び」で結んでまとめて記載しても良い。

5. 用紙はA4判上質紙を使用し、本様式によりワープロ浄書すること。